

さつきた★

ボランティア通信

2020年11月号
Vol.6

発行
札幌市北区ボランティア
活動センター

ボランティア募集中!

麻生の子ども食堂が調理の盛り付けのお手伝いを探しています。にぎやかな雰囲気の中、楽しみながら子どもたちの食事のお世話をしませんか？ 長期で活動していただける方を歓迎します！

- 募集人数：1～3名（年齢不問、できれば女性）
- 場 所：麻生キッチン「りあん」（北39条西5丁目2-12 滝澤ビル1階）
※地下鉄南北線麻生駅下車、8番出口から徒歩3分
- 日 時：毎月第3金曜日 18:00～20:00
※ただし、終了後、約50分間の「振り返り」の時間にもご参加いただける方
- 集まり次第、締め切ります
- 北区ボランティア活動センターへご連絡ください
(下記参照)



【札幌市北区ボランティア活動センター】

お手伝いを探している方と手を貸せる方を結びつける役割を果たしているのが当センターです。どうぞお気軽にお問い合わせください。

〒001-0024 札幌市北区北24条西6丁目1-1 北区役所1階
社会福祉法人札幌市北区社会福祉協議会内

【相談時間】8:45～17:15（土日祝日、年末年始除く）

【TEL】011-757-2482

【FAX】011-737-7270

【HP】<http://www.sapporo-shakyo.or.jp/about/kita-shakyo/>



アンケートにご協力ください!

札幌市北区ボランティア連絡会は、新型コロナウイルス緊急事態宣言（2月末）以降のボランティア活動に関するアンケート調査を実施します。

アンケート用紙を同封しましたので、この機会に「新しい北海道様式」におけるボランティアの在り方など、ご意見をお寄せください。よろしくお願いたします。

あなたの街の ボランティア訪問！

パンをお届け、笑顔で交流

～買い物代行ボランティア～

依頼者の男性の元へ、パンを中心とする食品を届けるようになって約2年半になるお二人の女性ボランティア。月3回、30分程度の活動ですが、「パンを届けると喜んでいただける。こちらも元気をもらえます」と声を揃えます。

依頼者さんは病気などの影響でふらつきがあり、お気に入りのパン屋さんへの買い物はあきらめていました。同じ地域に住む二人の女性が買い物の代行をすることと決まり、毎月3のつく日に活動することになりました。

前日に依頼者さんから電話連絡があり、時々、パンに加えて野菜や総菜を頼まれることもあります。近くのスーパー等で買い物をすませますが、「希望の品がないこともある。なるべく要望に応えたいけれど、そこはできる範囲内で。お互いに気を遣うのは嫌ですからね」。

買い物が終わり次第、依頼者さんのご自宅を訪問。玄関先で購入したものを手渡し、会計を済ませて終了ですが、時には玄関先で世間話に花を咲かせることもあります。

月3回の活動ですが、依頼者さんの電話の声で体調がうかがえ、パンの消費具合で食欲

の有無も感じ取ることができます。活動者のお二人は「自分の生活以外にも気を配るということは張り合いが出てきます。ちょうどよい運動にもなりますね」とやりがいに加えて健康維持にも役立っているようです。

依頼者さんは「片腕のしびれがあって、いつまで一人暮らしができるかと考えている今、本当に助かります」と笑顔でお話してくれました。



玄関先で、笑顔とともにパンを手渡し



予約しておいたパンを購入

活動依頼の流れ

依頼者さんのケアマネージャーから北区社会福祉協議会へボランティア活動の依頼があり、活動者を募集したところ、お二人が手を挙げてくださり、活動に至っています。



よろしくお願ひします！

今号から情報紙の編集担当となりました中田です。皆さんに役立つ情報を発信していきたいと思ひます。紙面に対する要望などがございましたらお気軽にご連絡ください。

